

第一ビル

# 西日本ネットワーク 中国・四国・九州

日本鉄鋼連盟はこのほど、2008年度の普通鋼地域別用途別受注額は初めて約4%台増え、2007年度に比し約4.2%増の1500万トン、冷延鋼板は4万3000トン、その他は4万3000トン、それぞれ減少が続いて、30万トンに低下した。

## 普通鋼受注

### 08年度 香川除き前年割れ

# 中・四国、船舶向け堅調

の別別普通鋼受注量 (単位: 1000トン) 中間は前年度比%、下段は構成比

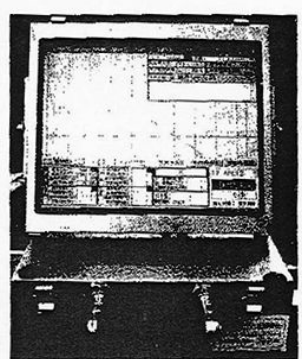
用途	船舶用	自動車用	販売業者向け	内需計
9	—	325	23,096	56,717
1	—	36.6	78	88.6
2	—	0.5	34.6	—
8	—	1,090	16,875	50,038
8	—	80.7	76.5	85.9
6	—	2.2	33.7	—
9	675,005	364,537	196,263	1,522,369
8	108.5	69.9	81.8	86.2
3	44.3	23.9	12.9	—
6	979,832	643,254	320,387	2,312,902
4	102.4	76.7	100	91.0
7	42.4	23.5	13.9	—
9	50,615	174,461	45,463	476,977
4	118.4	92.7	89.5	93.6
3	10.6	36.6	9.5	—
0	694,126	—	200,373	1,021,081
3	118.7	—	86.2	108.0
5	68.0	—	19.6	—
9	8,910	—	28,859	65,860
2	108.8	—	64.3	79.1
7	13.5	—	43.8	—
5	652,853	—	89,234	842,101
5	96.5	—	86.3	93.4
3	77.5	—	10.6	—
5	2,383	—	35,455	52,234
5	95.4	—	89	92.1
7	4.6	—	67.9	—

一方、船舶向けは引き続き堅調で、前年比18%増の1500万トンに増加した。自動車用は6%増の1500万トンに増加した。

## エコ・システム アルミ溶湯最適化 清浄度判定装置を開発

【廿日市】産業機械 装置開発のエコ・システム(広島県廿日市市大野中央1-8-15、鋳田敏雄社長)は、アルミ溶湯の清浄度を判定する装置を開発、販売を始めた。温度推移の解析を行って、不純物の量などを算出し、溶湯の清浄度を管理、

不良品の発生防止に「査用のスタンドで構成。溶解段階の溶湯をサンプリング、6分間程度で測定が完了する。検査結果は画像表示に曲線と数値で表示される。データを基に組織の微細化状況を判別したり、不純物の量などを算出して、溶湯の清浄度を判定評価、C」は、装置本体と検



出湯の可否を判断する。装置はタッチパネル方式で、測定範囲温度は0-1370度。重量は約10kgで、持ち運べるようにした。溶湯のサンプルを注湯部分に入れて装置の測定用スタンドにセットするだけで自動的に測定

曲線で清浄度を判定(写真はアモ用)

サイズ・鋼種ともに沖繩県内のニーズに対応できる体制を整備

溶接閉鎖形せん断補強筋はこれまで、県外にオーダーメイドで発注され輸送コストと納期に時間を要していたが、同社が生産に入ったことで建造物の構造

RC0298-01。生産販売する同製品は鋼種がSD295A、SD345、SD390。サイズはD10、D13、D16で沖繩県内のニーズに対応できる体制を整えている。

## 中経 中国電力 エネ総研 設備投資など見込

中国電力エネルギー総研は、2009年度の設備投資を前年度に比し約2割増の1000億円に引き上げる見込み。また、再生可能エネルギーの設備投資も増加する。中国電力は、2009年度の設備投資を前年度に比し約2割増の1000億円に引き上げる見込み。また、再生可能エネルギーの設備投資も増加する。

従来の測定方法では、解析時間に30分-1時間待ちを要していたが大幅に短縮される。また、これまで解析前後に必要な付帯作業も簡素化できるメリットもある。

溶湯の清浄度結果が悪かった場合は、画面に温度の調整など対策作業工程が表示される。必要に応じて、溶湯を繰り返して、溶湯を最良の状態にする。

溶湯の清浄度を管理することで不良の後工程流出を抑えることが